

## 八街街区公園



発注者 : (財) 千葉県建設技術センター  
所在地 : 千葉県八街市  
敷地面積 : 1号街区公園 1,100m<sup>2</sup>  
2号街区公園 1,200m<sup>2</sup>  
竣工 : 2006年(2号街区公園)  
2008年(1号街区公園)

総武本線八街駅北側地区は、八街市の玄関口を形成すべく、ふるさとの顔づくりモデル土地区画整理事業が進められており、2つの街区公園が整備された。

八街は、江戸時代までは幕府の「野馬」を産出していたため、公園整備は文化と歴史に貢献し、市民も親しめる「野馬」をテーマとした。放牧地という八街に残る土地の記憶を、「野馬のオブジェ」によって喚起しながら、1号街区公園は「森のいずみ」、2号街区公園は「芝のまきば」という、かつて野馬がたたずんでいた2つの風景をコンセプトとした公園を整備した。